

令和7年度 学校教育自己診断の結果と分析

1. 回答者

対象	生徒	保護者	教員
提出数／対象者	584／690	456／690	47／47
回答率	84.6%	66.1%	100%

2. 実施時期 令和7年 12月

3. 実施方法 Google フォーム (Web) 回答

【生徒の回答】(◎)

- ・全 11 項目の肯定的回答の比率が 90% (過去最高) となり、極めて高い満足度を示している
 - ・令和6年度に著しく高まった満足度が今年度さらに向上した
 - ・過去の結果の中で最高の数値を示した項目が、全 11 項目 7 項目を占めている
- [学習指導] 項目5「わかりやすさ」(91.6%)、項目6「1人1台端末」(94.5%) は 90% を優に超え、授業に対する評価は高い
- [生徒指導] 項目2「指導の納得度」(82.9%) は初めて 80% を超えた。また項目7「いじめ対応」は 92.3% であり、指導に対する生徒の信頼度は高まっている
- [進路指導] 項目3「進路・生き方を学ぶ機会」(95.0%)、項目4「コース選択取り組み」(91.1%) は、どちらも過去最高の数値となり、高い信頼を得ている
- [その他] 項目1「登校満足度」(86.8%)、項目11「入学満足度」(91.6%) は微減したが、いずれも高い数値である。項目8「相談体制」(83.7%)、項目9「人権学習」(90.6%)、項目10「学校行事」(90.1%) は、いずれも過去最高の数値が示され、高く評価をされている

【保護者の回答】(◎)

- ・全9項目 (項目8を除く) の肯定的回答の比率が 86.1% となり、過去最高となった
- [学習指導] 項目2「わかりやすさ」(68.4%) は、生徒評価に連動して過去最高の数値となっている
- [生徒指導] 項目4「指導への共感」(84.1%) は高い数値を維持し続けている。また項目7「いじめ対応」(87.8%) は過去最高の数値となっている
- [進路指導] 項目5「進路や職業の指導」(92.4%) は過去最高の数値となっている
- [その他] 項目1「登校満足度」(84.1%)、項目11「入学満足度」(93.2%) は微減したが、いずれも高い数値である。項目3「相談対応」(90.6%)、項目6「人権教育」(85.4%)、項目9「情報提供」(88.7%) といずれも高い数値を維持している

【教職の回答】(○)

- ・項目により肯定的回答が増えているものと減っているものが混在している
- ・項目5「いじめへの対応」(83.0%) や、項目6「キャリア教育」(76.6%) に関しては、生徒評価とは反して厳しい評価となっている。より高い問題意識の共有ととらえられる

【総論】

- ・生徒及び保護者の回答における肯定的回答の比率はここ数年上昇傾向にあり、今年度はどちらも過去最高の満足度が示された。本校の教育活動に対する高い支持が示されていると考えられる。教員の持つ問題意識をさらなる改善の推進力として、学校改善に取り組みを行う